



平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 8 月 9 日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 憲道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務部長 (氏名) 佐々木 恒雄 (TEL) 072 (949) 5381
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 8 月 9 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 1 四半期	7,071	—	592	—	619	—	462	—
24 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 1 四半期 127 百万円 (—%) 24 年 3 月期第 1 四半期 一百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 1 四半期	29.30	—
24 年 3 月期第 1 四半期	—	—

(注) 当社は、平成 24 年 3 月期第 1 四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成 24 年 3 月期第 1 四半期の記載及び平成 25 年 3 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 1 四半期	22,964	8,101	35.0
24 年 3 月期	23,371	8,108	34.4

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 1 四半期 8,031 百万円 24 年 3 月期 8,033 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	2.00	—	8.00	10.00
25 年 3 月期	—	—	—	—	—
25 年 3 月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	14,000	△2.2	1,000	△21.0	1,020	△14.0	660	△15.1	41.85
通 期	28,900	4.1	2,070	2.7	2,100	4.9	1,370	△0.4	86.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 一社、除外 一社 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,770,074株	24年3月期	15,770,074株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	162株	24年3月期	162株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	15,769,912株	24年3月期1Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体として減速傾向となりました。米国は個人消費の伸び悩み等がありましたが、緩やかな回復となりました。中国をはじめとする新興国は、内需が伸び悩む中で、経済成長が鈍化しました。一方、日本経済は、震災復興関連需要等の堅調な内需を中心とした持ち直しの傾向が見られました。しかし、電力供給に対する懸念に加え、欧州債務危機問題等を背景にした円高・株安が進む等先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、① お客様第一主義 ② グローバル&イノベーション ③ 選択と集中を、経営の基本方針として、お客様にご満足いただける製品・サービスの提供、新製品開発や新市場開拓に積極的に取り組み、厳しい環境の克服に注力してまいりました。海外では、旺盛なゼラチン需要に支えられ売上は好調に推移いたしました。日本では前年同四半期の一時的な震災需要が沈静化したため、売上が減少いたしました。

これらの結果、売上高は、7,071百万円となり、営業利益は592百万円、経常利益は619百万円、四半期純利益は462百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では、前年同四半期の一時的な震災需要の沈静化により売上が減少いたしました。コンビニ総菜や乳製品向け、家庭用ゼラチンパウダー等を中心に、好調に推移いたしました。また、カプセル用は、医薬向け、健康食品向け共に堅調に推移いたしました。写真用は、売上が減少いたしました。海外では、北米、アジアともに、食用、カプセル用の需要が旺盛であり、価格改定効果も寄与し、売上が増加いたしました。

コラーゲンペプチドは、日本市場では、競争激化による販売単価の低下、出荷数量の減少、さらに、アジアでの市場開拓の遅れにより、売上が減少いたしました。

コラーゲンケーシングは、米国でのスナックソーセージ用が堅調に推移し、中国への輸出が好調であったため、売上が増加いたしました。

その結果、当該事業の売上高は、4,384百万円となり、セグメント利益（営業利益）は550百万円となりました。

② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、国内の堅調な食品市場に支えられ、コンビニチルドデザートやハム・ソーセージ用品質安定剤が好調に推移いたしました。

接着剤は、飲料・食品業向けを中心に、包装用ホットメルト形接着剤が堅調に推移しましたが、出版業の低迷による製本用の減少、一部製品の事業譲渡により、売上が減少いたしました。

その結果、当該事業の売上高は、2,687百万円となり、セグメント利益（営業利益）は384百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比407百万円減少し、22,964百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比248百万円減少の14,687百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が270百万円増加した一方で、現金及び預金が332百万円減少し、受取手形及び売掛金が139百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比158百万円減少の8,277百万円となりました。主な要因は、株安の影響で投資有価証券が172百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末比43百万円減少の9,132百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が184百万円増加した一方で、未払法人税等が248百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比357百万円減少の5,730百万円となりました。主な要因は、長期借入金が265百万円減少したことと、退職給付引当金が59百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比6百万円減少の8,101百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が335百万円増加した一方で、前連結会計年度末から円高が進み、為替換算調整勘定が268百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が82百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度は、34.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成24年5月11日に発表した業績予想を修正していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,098,305	1,765,966
受取手形及び売掛金	6,449,185	6,309,206
商品及び製品	4,011,191	4,377,634
仕掛品	651,952	649,400
原材料及び貯蔵品	1,308,008	1,214,547
その他	431,247	386,031
貸倒引当金	△14,013	△15,501
流動資産合計	14,935,878	14,687,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,519,511	2,434,763
機械装置及び運搬具（純額）	1,160,053	1,074,162
その他（純額）	1,707,611	1,853,029
有形固定資産合計	5,387,176	5,361,955
無形固定資産		
その他	18,491	21,295
無形固定資産合計	18,491	21,295
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055,225	1,882,234
その他	976,926	1,013,391
貸倒引当金	△1,814	△1,670
投資その他の資産合計	3,030,338	2,893,955
固定資産合計	8,436,005	8,277,207
資産合計	23,371,884	22,964,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,476,611	3,661,042
短期借入金	925,340	867,008
1年内返済予定の長期借入金	1,878,380	1,809,021
1年内償還予定の社債	330,000	330,000
未払法人税等	387,141	138,793
賞与引当金	235,319	360,493
その他	1,943,430	1,966,308
流動負債合計	9,176,223	9,132,668
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	3,261,365	2,996,160
退職給付引当金	2,158,327	2,098,566
役員退職慰労引当金	33,772	34,184
その他	434,018	401,338
固定負債合計	6,087,483	5,730,249
負債合計	15,263,707	14,862,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	1,577,121
資本剰余金	1,398,633	1,398,633
利益剰余金	6,889,910	7,225,821
自己株式	△68	△68
株主資本合計	9,865,597	10,201,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,438	333,593
繰延ヘッジ損益	6,173	△16,608
為替換算調整勘定	△1,350,928	△1,619,229
在外子会社の年金債務調整額	△903,985	△867,934
その他の包括利益累計額合計	△1,832,302	△2,170,178
少数株主持分	74,881	70,245
純資産合計	8,108,176	8,101,574
負債純資産合計	23,371,884	22,964,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	7,071,616
売上原価	5,252,160
売上総利益	1,819,455
販売費及び一般管理費	1,227,107
営業利益	592,348
営業外収益	
受取利息	131
受取配当金	9,113
持分法による投資利益	63,051
その他	21,769
営業外収益合計	94,065
営業外費用	
支払利息	38,513
為替差損	23,173
その他	4,728
営業外費用合計	66,416
経常利益	619,996
特別利益	
固定資産売却益	10,897
特別利益合計	10,897
特別損失	
投資有価証券評価損	9,871
特別損失合計	9,871
税金等調整前四半期純利益	621,022
法人税等	156,217
少数株主損益調整前四半期純利益	464,805
少数株主利益	2,735
四半期純利益	462,069

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,805
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△82,787
繰延ヘッジ損益	△16,649
為替換算調整勘定	△175,878
在外子会社の年金債務調整額	36,050
持分法適用会社に対する持分相当額	△97,810
その他の包括利益合計	△337,074
四半期包括利益	127,730
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	124,193
少数株主に係る四半期包括利益	3,536

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。